



宮古市の災害廃棄物を視察

東日本大震災における災害廃棄物の処分について、栗林市長が「市民の理解を前提に受け入れを進めたい」と、平成23年第4回定例会の一般質問に答弁されたことから、現況確認のため議員全員で岩手県宮古市藤原埠頭に集積された廃棄物を視察するとともに、宮古市職員から廃棄物の現況や内訳、安全性等について詳細に説明を受けました。
(1月12日：岩手県宮古市藤原埠頭、宮古市民総合体育館)

主な内容

CONTENTS

- 新年のごあいさつ・臨時会、定例会の概要 2～3
- 9人の議員が一般質問 4～8
- 平成22年度一般会計・特別会計歳入歳出決算を認定 9
- 委員会審査のあらまし、議会のうごき 10
- 陳情・意見書、大仙市議会議員の関係私企業を公表 11
- 提出された議案と審議結果、編集後記 12



議会改革に邁進



大仙市議会

議長 鎌田 正

市民の皆様には、希望に満ちた平成24年を迎え早一月が経過し、ご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

年末からの降雪により、除排雪作業にご苦労の日々とお察しいたしますが、高齢化と一人暮らしの方が増加するなか、安全作業を第一に地域の和と連携によりこの季節を乗り切ることを願うところです。

さて、昨年3月11日の東日本大震災以来、社会情勢は厳しさを増し、また険悪なニュースが多いなか、年末に開催された第39回マーチングバンド・バトントワリング全国大会において、中学生の部・マーチングバンド大編成部門において大曲中吹奏楽部が最優秀賞を、また小学生の部・マーチングバンド小編成部門では花館小学校マーチングバンドが金賞、同大編成部門で大曲小マーチングバンド部が銀賞を受賞されました。さらに、新春に開催された小学生による第40回県ミニバスケットボール交歓大会においては、女子の豊川ミラーズが優勝、男子の四ツ屋ブルーファイターズが第三位の栄誉を取られ、皆様の大活躍に心からお祝いを申し上げます。

未来を担う地域の若い力が、一つ

の目標に向けて懸命に努力する姿に大きな感動と喜びを感じたところであり、この厳しい状況下ではありますが、次代へ夢を引き継ぐ地域づくりに向けて、この一年の取り組みへの思いを新たにしたいと考えております。

大仙市議会においては、議会の最高規範となる大仙市議会基本条例と、議員の政治倫理を定めた大仙市議会議員政治倫理条例とともに昨年10月1日から施行したところであり、議会が目指す議会改革は条例を制定することが目的でなく、条例での規定は、市民への議会改革に向けた議会の公約であることを強く認識し、その具体的な取り組みについてさらなる検討と実行に努める所存でありますので、ご理解と議会・議員活動に対して多くのご意見をお寄せいただきたくお願いするところです。

季節は、厳寒から立春へ移る時節となりますが、この厳しい寒さと社会情勢を乗り越えた向こうには、陽光に満ちた穏やかな春と幸せが訪れることを信じ、市民と共にあゆむ市議会に向けて尽力する所存であります。

皆様のご多幸とご健勝を祈念申し上げます。あいつつといたします。

第7回臨時議会

11月24日(木) 1日間

第7回臨時議会は11月24日に開催されました。当臨時議会は人事院勧告及び秋田県人事委員会勧告に伴う一般職の職員給与改定を11月中に行う必要があることから招集されたものです。

▽大仙市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について(賛成多数で原案可決)

人事院勧告及び秋田県人事委員会勧告に伴い、一般職の職員の給与について、給料表及び期末・勤勉手当の改正を行うもの。行政職給料表並びに医療職給料表について50歳台を中心に40歳台以上を念頭に置き、平均0.2%の引き下げを行うものなど。施行日は12月1日。

▽平成23年度大仙市一般会計補正予算(第10号)(全会一致で原案可決)

【主な内容】

歳入歳出予算の総額に383万8千円を減額するもの。

歳入▽地方交付税354万9千円の増額、県支出金738万7千円の減額補正。

歳出▽人事院勧告及び人事異動等に伴う職員人件費3,975万5千円の増額補正。人事院勧告及び人事異動等に伴う特別会計への繰出金1,213万6千円の減額補正。議員報酬の減額に伴い1,086万8千円の減額補正。農業委員会委員選挙の職員時間外勤務手当1,320万2千円の減額補正。秋田県議会議員選挙の職員時間外手当738万7千円の減額補正。

第4回定例会

12月5日(月)～12月21日(水) 17日間

第4回定例会は12月5日に招集され、12月21日までの17日間の会期で行われました。

本会議第1日目に人事案2件、条例案9件、単行案7件、補正予算案4件が上程され、継続審査としていた平成22年度大仙市一般会計・特別会計歳入歳出決算の認定についての24件と人事案2件をそれぞれ同日に認定及び同意と決したほか、議会運営委員長から提出された、議会議員政治倫理審査会及

び議会改革推進会議の設置に伴う「大仙市議会会議規則の一部を改正する規則の制定」も全会一致により原案可決と決しました。

第2日目と第3日目には一般質問が行われ、9人が市政全般にわたって市当局の見解を質しました。

4日目の最終日には初日に上程された議案の付託された委員長報告及び表決が行われ、全ての議案は原案のとおり可決と決し、第4回定例会は閉会しました。



危険な空き家には必要な措置を講ずる勧告ができる
「大仙市空き家等の適正管理に関する条例」

人事案

▽人権擁護委員の候補者の推薦につき

意見を求めることについて

（全会一致で同意）

- ・池田キミ氏（高梨・再推薦）
- ・中村健秀氏（板見内・再推薦）

条例案・単行案

▽大仙市空き家等の適正管理に関する

条例の制定について

（全会一致で原案可決）

空き家等の倒壊等の事故、犯罪、火災等を未然に防止し、市民の安全で安心な暮らしの実現に寄与することを目的として、空き家等の管理の適正化を図るもの。空き家等に係る問題については管理者の所在が不明、所有者死亡に伴い相続人が不明、管理者に積極的な管理の意思が

ないなど、近隣住民が対応に苦慮するような場合が多く、また、柱などが腐朽し、家屋が隣家に倒れかかるおそれがある、トタン等が飛散するおそれがあるなど危険性が具体的で、住民の生命、身体及び財産を保護すべき立場から市が何らかの関与をすべき事案が増加しており、これら危険な状態にある空き家等に関し、所有者等による自主的な管理を基本としつつ、市が取るべき対策やその手続きを定めるもの。

具体的な内容については、空き家等の所有者等の管理責任を明文化するほか、市への情報提供や市による空き家等の調査、危険な状態にある空き家等の所有者等への助言・指導、あるいは報告を行うこととし、これら行政指導にしたがつて自ら措置を講ずる場合に助成することができることとするもの。一方、行政指導に従わない場合は、その氏名等を公表することができることとし、さらに行政処分として措置を命令することができるもの。施行日は平成24年1月1日。

▽指定管理者の指定について（7件）

（7件とも全会一致で原案可決）

公の施設の指定管理者を指定するもの。

【平成24年4月1日から平成27年3月31日までの3年間の施設】

▼大仙市協和内水面漁業近代化施設・大仙市協和広場等利用施設Ⅱ庄内養殖管理組合（大仙市協和船岡）

▼大曲地域職業訓練センターⅡ職業訓練法人大曲仙北職業訓練協会（大曲田町）

▼大仙市西仙北緑地運動広場野球場・同

グラウンドゴルフ場・大仙市西仙北スポーツセンターⅡ株式会社オーエンス（東京都中央区）

【平成24年4月1日から平成29年3月31日までの5年間】

▼大仙市立協和公民館淀川分館Ⅱ淀川振興協議会（大仙市協和下淀川）

▼大仙市協和淀川農林漁業者トレーニングセンターⅡ淀川振興協議会（大仙市協和下淀川）

▼土川保育園Ⅱ社会福祉法人大空大仙（大仙市北長野）

【平成24年4月1日から平成30年3月31日までの6年間】

▼鞠子苑Ⅱ（社）大仙市シルバー人材センター（大曲住吉町）

北村 稔 議員逝去



北村稔議員（大仙市大曲字北村・70歳）は、去る12月31日に逝去されました。

故人は大曲市職員として奉職後、平成15年5月、大曲市議会議員に初当選。以来、合併後も大仙市議会議員として通算3期8年8月にわたり務められました。この間、合併後の在任特例期間中に農林商工常任委員会委員長として、また平成21年1月には副議長、さらに平成23年10月からは企画産業常任委員会委員長として議会並びに委員会の円滑な運営に尽力されました。

また、平成18年6月に設置された大仙市出資法人等経営改革調査特別委員会委員長、平成22年12月に設置された政治倫理条例特別委員会委員長など特別委員会の委員長としても尽力されておりました。

ここに謹んで故人のご冥福をお祈りいたします。

3月定例会会期のご案内

- 2月27日（月）本会議第1日（施政方針演説・議案上等等）
 3月5日（月）本会議第2日（一般質問）
 6日（火）本会議第3日（一般質問）
 7日（水）本会議第4日（当初予算質疑・議案質疑・委員会付託）
 8日（木）・9日（金）・12日（月）常任委員会審査
 15日（木）本会議第5日（委員長報告・質疑・討論・決）
 ※現時点での予定であり、変更される場合があります。
 変更内容は随時、議会ホームページでご案内しています。

対面式一問一答方式

論点が「わかりやすい」と好評です

一般質問スタイルを変更

議場内に新たに議員専用の演壇が設置されました。これは10月1日に施行された大仙市議会基本条例の「本会議における議員と市長等との質疑応答は、広く市制上の論点及び争点を明確にするため、一問一答方式で行うものとする」に従って議場内が整備されたものです。中央列の議員席を1列下げ、開いたスペースに議員発言用の演壇とメモを取れる机を設置。演壇は合併前に神岡町議会の議場で使用していたものを据え付けています。

第4回定例会はこの演壇を使用して、市当局と向かい合っただけの一般質問を行うとともに、これまで最初の登壇時に一括質問していたスタイルを一問一答方式に改めることにより、傍聴していた市民からも「質問と答弁が直接結び付き、分かりやすい」と大変好評のようでした。一般質問に立った議員からも「最初は戸惑ったが、答弁者が向かい合わせにいたので質問しやすくなった」との声もありました。

次の平成24年第1回定例会でも「対面式一問一答」方式で行われます。一般質問は3月5日(月)・6日(火)に行われる予定です。ぜひ傍聴においでください。



議員専用の演壇が設置され、当局と向かい合っただけの一般質問が行われた

議会改革推進会議を設置

今期定例会では「議会改革推進会議」が設置されました。

同会議は昨年10月1日に施行された「大仙市議会基本条例」第22条に規定される、議会改革を積極的かつ継続的に取り組むために設置されるもので、その委員には8名が指名され、12月14日の第1回目の会議では委員長と副委員長が互選されました。

今後は定期的に会議を開催し、議会基本条例の運用、啓発、見直しに関して検討します。議会改革推進会議委員は次のとおりです。

(敬省略) 委員長▽武田隆 副委員長▽後藤健
委員▽金谷道男、高橋敏英、佐藤芳雄、小山
緑郎、藤井春雄、杉沢千恵子

一般質問

一般質問



だいせんのか

議員 誠 橋村

Q 被災地の
がれき受け入れの方針は

A 受け入れを前提に
進めて参りたい

質問 東北の仲間として被災地の真の復興のため、がれき受け入れに対する市の方針は。

市長 膨大な量の災害廃棄物は、被災市町村及び被災県単位では処理できない問題であり、今必要なことは少しでも災害廃棄物を受け入れ、処理することによって支援の輪が全国に広がり、少しでも早い被災地の復興に繋がっていくことと思っておりますので、市民の皆様のご理解を頂きながら、何とか災害廃棄物の受け入れを前に進めて参りたいと考えます。

農業問題について
質問 個々の農家に収入の確保が図られる6次産業化とはどのようなものか。

市長 農業の6次産業化とは具体的には道の駅などの直売活動や農村と

都市との交流を図るグリーン・ツーリズムなどが該当するものであり、大仙市内には現在、6次産業化に取り組んでいる22の団体と個人では11人の方々がおられ、野菜の漬物、大豆を使った豆腐やお菓子などの加工販売、農家レストラン、農家民宿などとなっております。

質問 どのような方向に農家を導こうとしているのか。

市長 地域に見合った推進をするため、県やJA、商工会議所、商工会、実践者代表などからなる「大仙市農業6次産業化推進会議」を7月に設置し、経営拡大や新規取り組みなどの支援について協議しているところです。

質問 フィルムコミッションの現在の活動状況と今後の活動方針については。

市長 各地域の観光協会をはじめとした市民や各種団体との連携や協働による観光振興が求められており、今後、そのための組織の設立を考えており、合わせて観光協会の統合のための協議を進めて参りたいと思っております。

観光行政とフィルムコミッションについて
質問 大仙市として何

※橋村議員はこれらの質問のほか、「雇用対策について」の質問も行いました。

9人の議員が市政全般にわたり市当局の見解をたどりました。



新 政 会

茂 木 隆 議員

Q 淀川広域基幹河川改修事業の促進を

A 県に早期完成を強く要望する

質問 淀川広域基幹河川改修事業の促進に向け県に要望して頂きたい。

市長 6月の豪雨により、協和下淀川地区において床下浸水が3件、農地への冠水が40haと、大きな災害が発生しておりますので、県

に対して事業の早期完成を強く要望して参ります。

質問 雄物川中流部河川改修事業（小平・岩瀬・湯野沢地区）の促進を、今後一層国に要望して頂きたい。

市長 同地域の築堤事業の見通しとしては、芦沢地区から中村地区にかけては、用地調査等が行われ、現在は用地補償契約締結の段階と伺っており、湯沢河川国道事務所としても、早い時期の事業化に向け、ご尽力頂いているところであります。

質問 市では小規模集落コミュニティ対策事業の一環として集落支援員を配置するなど、小規模集落対策に努めているところであり、少子・高齢化により集落機能の低下が進む中でのコミュニティの維持や、その活動の拠点となる施設のあり方についても検討が必要と考えており、小規模な集落会館の維持・補修への支援も合わせて総合的に検討して参ります。

市長 厳しい財政状況ではあります、各地域の特性や実情を勘案しながら平成24年度の予算編成に当たって参りたい。

質問 小規模な集落会館への補修費支援をお願いするとともに、現行制度の見直しも含めて検討願いたい。

市長 市では小規模集落コミュニティ対策事業の一環として集落支援員を配置するなど、小規模集落対策に努めているところであり、少子・高齢化により集落機能の低下が進む中でのコミュニティの維持や、その活動の拠点となる施設のあり方についても検討が必要と考えており、小規模な集落会館の維持・補修への支援も合わせて総合的に検討して参ります。

質問 市民の安全確保のため、道路及び河川維持費の増額について

の増額をお願いしたい。

市長 厳しい財政状況ではあります、各地域の特性や実情を勘案しながら平成24年度の予算編成に当たって参りたい。

質問 小規模な集落会館への補修費支援をお願いするとともに、現行制度の見直しも含めて検討願いたい。

市長 市では小規模集落コミュニティ対策事業の一環として集落支援員を配置するなど、小規模集落対策に努めているところであり、少子・高齢化により集落機能の低下が進む中でのコミュニティの維持や、その活動の拠点となる施設のあり方についても検討が必要と考えており、小規模な集落会館の維持・補修への支援も合わせて総合的に検討して参ります。

質問 日本一の花火の街を映像と展示で紹介する施設の整備を進めたらどうか

市長 「大曲の花火」の映像については、人の集まりやすい公共、民間の既存施設を活用しながら、フィルムコミッションによるソフト事業として検討して参りたいと考えております。

質問 市街地再開発事業は高い公共性を持つており、事業を執行する再開発組合にも高い責任が求められると思うが、市当局の考えは。

市長 公共的要素の高い事業と捉え、再開発組合の事務局を市が兼務し、国や県との調整役となりながら円滑かつ確実に事業の推進を図るために支援体制をとっているところであり、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

市長 市街地再開発事業は高い公共性を持つており、事業を執行する再開発組合にも高い責任が求められると思うが、市当局の考えは。

市長 公共的要素の高い事業と捉え、再開発組合の事務局を市が兼務し、国や県との調整役となりながら円滑かつ確実に事業の推進を図るために支援体制をとっているところであり、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

市長 公共的要素の高い事業と捉え、再開発組合の事務局を市が兼務し、国や県との調整役となりながら円滑かつ確実に事業の推進を図るために支援体制をとっているところであり、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

市長 公共的要素の高い事業と捉え、再開発組合の事務局を市が兼務し、国や県との調整役となりながら円滑かつ確実に事業の推進を図るために支援体制をとっているところであり、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

観光振興による交流人口の拡大について

質問 プロモーションビデオを作成したら良いと思うが見解は。

市長 情報発信の有効な手段であると認識しており、現在「だいせん大曲フィルムコミッション」において観光素材のデータ収集を行っているところから、フィルムコミッション事業としてビデオ作成を検討して参りたいと考えております。

質問 市街地再開発事業は高い公共性を持つており、事業を執行する再開発組合にも高い責任が求められると思うが、市当局の考えは。

市長 公共的要素の高い事業と捉え、再開発組合の事務局を市が兼務し、国や県との調整役となりながら円滑かつ確実に事業の推進を図るために支援体制をとっているところであり、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

市長 公共的要素の高い事業と捉え、再開発組合の事務局を市が兼務し、国や県との調整役となりながら円滑かつ確実に事業の推進を図るために支援体制をとっているところであり、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

市長 公共的要素の高い事業と捉え、再開発組合の事務局を市が兼務し、国や県との調整役となりながら円滑かつ確実に事業の推進を図るために支援体制をとっているところであり、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

市長 公共的要素の高い事業と捉え、再開発組合の事務局を市が兼務し、国や県との調整役となりながら円滑かつ確実に事業の推進を図るために支援体制をとっているところであり、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

市長 公共的要素の高い事業と捉え、再開発組合の事務局を市が兼務し、国や県との調整役となりながら円滑かつ確実に事業の推進を図るために支援体制をとっているところであり、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

市長 公共的要素の高い事業と捉え、再開発組合の事務局を市が兼務し、国や県との調整役となりながら円滑かつ確実に事業の推進を図るために支援体制をとっているところであり、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

市長 公共的要素の高い事業と捉え、再開発組合の事務局を市が兼務し、国や県との調整役となりながら円滑かつ確実に事業の推進を図るために支援体制をとっているところであり、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

市長 公共的要素の高い事業と捉え、再開発組合の事務局を市が兼務し、国や県との調整役となりながら円滑かつ確実に事業の推進を図るために支援体制をとっているところであり、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。



大 地 の 会

石 塚 柏 議員

Q 市街地再開発事業で地域住民・借家権者に配慮した手だては

A 住民説明会や個別の訪問等により説明

ろであります。

質問 再開発組合の理事は、みなし公務員に該当するのか。

市長 都市再開発法第140条に、本来公務員等に対し適用される収賄罪に関する規定があり、賄賂の收受等については、公務員と同様に罰則が科せられることとされております。

質問 病院の建築図面を見ると、待合室スペースが不足していると思われるが、診療所の位置と間取り、待合室や放射線・救急・内視鏡室のレイアウトについては、限られた床面積の中で、最良な設計を、医師・看護師等、関係者が病院内で再三協議・検討したものと伺っております。

質問 今後、市街地再開発事業を進める際、利用者や住民の声をどのように反映させるのか。

市長 今後は、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

市長 今後は、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

市長 今後は、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

市長 今後は、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

市長 今後は、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

市長 今後は、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

市長 今後は、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

福部内川の治水対策について

質問 県では6月の洪水被害を踏まえて、新たな治水対策をどのような手順で立案しようとしているのか。

市長 治水対策の検討を進めると、待合室スペースが不足していると思われるが、診療所の位置と間取り、待合室や放射線・救急・内視鏡室のレイアウトについては、限られた床面積の中で、最良な設計を、医師・看護師等、関係者が病院内で再三協議・検討したものと伺っております。

質問 今後、市街地再開発事業を進める際、利用者や住民の声をどのように反映させるのか。

市長 今後は、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

市長 今後は、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

市長 今後は、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

市長 今後は、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

市長 今後は、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

市長 今後は、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

市長 今後は、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

市長 今後は、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。

一般質問

質問 市街地再開発事業は高い公共性を持つており、事業を執行する再開発組合にも高い責任が求められると思うが、市当局の考えは。

市長 公共的要素の高い事業と捉え、再開発組合の事務局を市が兼務し、国や県との調整役となりながら円滑かつ確実に事業の推進を図るために支援体制をとっているところであり、完成後の施設をより有効に活用するため、利用者に配慮した運営となるよう各施設を管理する方々と協議して参ります。



大地の会

佐藤 清吉 議員

Q 南外19号線は
早期に完成すべきと思うが

A 事業期間を2年短縮し、
28年度までとした

質問 市道南外19号線は、16年という長きにわたる年数に達する。地域住民の心情を察すれば早期に完成させるべきと思うが見解は。

市長 事業期間の短縮を図るため、既存道路を活用することにより工事コストを縮減するなどの工夫を凝らし、道路改良計画を変更しております。22年度の見直しでは、事業期間を2年短縮し28年度までとしたほか、総事業費も3億8,900万円としております。

質問 市道南外4号線も合併後は手付かずの状態である。安全確保の観点から早期に着手すべきと思うが。

市長 平成22年度においては、道路整備の必要性を検討し「道路を活かすこと」の観点から、きめ細かな交付金事業を活用し、前倒しで施工延長160mの舗装工事を実施しております。市の道路事業計画について

は、継続事業を優先しながら、限られた予算の中で進めていくこととなりますが、本路線につきましても計画的に推進して参ります。

質問 公共下水道も完成予定が7年延長となつてい

市長 南外地域住民の生活環境の改善に関する期待も高く、早期供用開始に対する要望は強いものと認識しております。23年度末の認可計画に対する面的整備率は68%の進捗率となる見込みであり、残された区域の早期供用開始に努めて参ります。

質問 西仙北地域の円行寺地区は過疎地域となつており、交通体系の整備に今後どう取り組むのか、また、立倉・上戸川・布又地区から道路幅幅に関する陳情が出されているが、どう対処

するの

市長 本2路線につきましては、採択趣旨に則つた事業実施に向け、側溝整備、幅員の狭小部や屈曲部の局部改良とともに、学校統合に伴う来年度からのスクールバス運行に向けて、教育委員会と協議を重ねながら、要所に待避所を設置するなどの改良案を検討しているところ

するの

市長 本年度、支所長権限の拡充を図るなどの観点から予算執行に關しまして、特に支所各課が所管する予算については、支所長専決権限を大きく拡充しております。

支所長権限と各支所への適正な職員配置について

質問 市民サービスの向上を図る観点から、支所長の判断や裁量で予算執行できる支所長枠予算を新設する考えはないのか。

市長 本年度、支所長権限の拡充を図るなどの観点から予算執行に關しまして、特に支所各課が所管する予算については、支所長専決権限を大きく拡充しております。

するの

市長 本年度、支所長権限の拡充を図るなどの観点から予算執行に關しまして、特に支所各課が所管する予算については、支所長専決権限を大きく拡充しております。

一般質問



新政会

小山 緑郎 議員

Q 少子化対策について
効果が得られているか

A それぞれの相乗効果で
実が得られる

質問 市の少子高齢化対策について、どのような事業が行われ、効果が得られているのか。

市長 介護予防事業、母子保健事業、学校生活支援事業、新規雇用を拡大する各種助成金制度等がありすが、個々の施策、事業だけでは十分な効果が得られず、それぞれの相乗効果によつてはじめて実が得られるものと考えており、今後も実施事業の検証を踏まえながら進めていく必要があると思ひます。

質問 平成24年度も継続して行う事業や新たな取り組みとして行う事業、人口流出に歯止めをかけるための今後の方向性は。

市長 当初予算編成方針においては「地域経済及び雇用情勢等を的確に踏まえた予算」を重点ポイントの一つとしており、雇用を維持・創出し、人口流出に歯止めをかける

ため、農林水産業の振興や商業振興、地域資源を活かした観光産業等の活性化、企業誘致など、地域の産業基盤の充実に全力で取り込むこととしております。

質問 今後学校統合が予定される市東部地区については、過去に保護者を対象に説明会を開催した経緯があるが、その後の計画はどうなっているのか。

教育長 太田地域においては、「太田南小と太田北小の2校による統合より、太田東小を含めた3校統合を望む」声や「統合には賛成できないが、複式学級ができることが不安要素である」などの意見が、また、中仙地域では豊岡小で「地域の学校という視点で存続してほしい」という意見が出

東部地区の
学校統合について

質問 統合の規模について、現段階での小・中学校それぞれの計画はどうなっているのか。

教育長 東部地区においては旧町を超えての統合計画は考えておりません。今後は、出生数の推移から入学者数の動向を予測し、複式学級

ができる可能性、1学年1学級の場合の在籍者数の状況、指定校変更や区域外就学の状況、配置される教員数の状況など、国や地域事情等の変化に応じて市教育委員会が出向いて、或いは保護者や地域住民の要請等にこたへる形で、児童生徒の望ましい教育環境づくりについで、随時、十分協議を深めて参ります。



市民クラブ

佐藤隆盛 議員

Q 一般質問にどう対応し、活かしているのか

A 庁議等で検討内容を指示調査検討し、順次対応

質問 答弁の最後に「前向きに、また今後検討して参りたい」「努めて参りたいと考えております」などの発言があるが、議会閉会后、一般質問にどう対応し、活かしているのか。

市長 各定例会ごとの指摘事項について確認・整理し、庁議等で検討内容を指示しております。それを受け、所管部課または組織の垣根を越えて立ち上げた全庁的な検討チーム等が指摘事項に対する現状把握、要望等の実現の可能性、現行制度の見直し、実施時期や手法、事業費等について改めて調査、検討を行っております。

大仙市スポーツ振興計画「子どもスポーツの充実」について

質問 「スポーツ立県あきた」の宣言について、どのように認識しているのか。
市長 大仙市で21年度か

ら25年度までの5年間の計画として、「一生スポーツ一生健康」のキャッチフレーズのもと県より1年先行して策定した「大仙市スポーツ振興計画」の基本目標と秋田県の5つの基本目標のうち、4つは同様であります。今後は国や秋田県、大仙市スポーツ振興計画を踏まえ、本市の特徴である首都圏からの交通の利便性、施設の立地条件を活かし、これまで以上に大学のスポーツ合宿や大きな大会等の誘致をはかり、地域の活性化や交流人口の増大はもちろんのこと、それによってもたらされる経済波及効果などに繋げて参ります。

質問 子どもの自主的スポーツ活動の推進についてどのように取り組んできたのか。
市長 スポーツ少年団や地域スポーツクラブでの活動を奨励することが主体となります。特にスポーツ少年団の加入促進策については毎年3月に大仙市スポーツ少年団情報誌「ダッシュ」を発行し、市内約100団が取り組んでいる種目、対象、活動日、活動場所等について市内小中学生全員に配布し紹介しております。

一般質問



まつすぐ大仙

後藤 健 議員

Q 景品たばこのたばこ税を市の税収にできないか

A 市内から購入頂くよう強く働きかける

質問 本社で一括仕入れられ、本社所在地へ納入されている大手パチンコ店の景品たばこの市町村たばこ税について、大仙市にたばこ税が納められるよう手立てを講じ、市の税収増に繋げるべきでないか。

市長 大仙市に納税していただくための手立てにつきましては、当該企業の経営方針にも関係いたしますが、市たばこ税については「できるだけ消費地に近いところへ納められるように」という趣旨で定められた税制度でありますので、小売販売店の許可をもらっていただくか若しくは大仙市内からたばこを購入していただくよう強く働きかけて参りたいと存じます。

質問 法人化と言いな
太田国民健康保険診療所の法人化について

がら、なぜ土地建物等は譲渡せず、無償貸与の形となり、市が理事として運営に関与するのか。

市長 太田国保診療所が今後とも東部地域の医療を担っていく必要があること、法人経営に移行したことによる住民の不安を払拭するとともに、法人による経営が安定するまでの間、市としてサポートしていくため、申し入れのあった医療法人への抛出と、運転資金の貸し付け、医療法人の理事及び監事に就任することとしたものであります。

質問 法人設立時に抛出される4千万円について、抛出の根拠とその財源は。
市長 これまで太田国保診療所が積立をして参りました財政調整基金の平成23年度末基金残高に相当する4千万円としたものです。

の修繕や医療機器の購入等に備えて基金のまま積み立てておくべきではないか。

市長 法人を作る場合、一定の財産であるとか、当初の運転資金の問題があります。まだ始まったばかりで収入も安定しないということになりますので、貸与という方法が一番現実的ではないかとしたところではあります。今までは形態は違いますが、国保診療所として蓄積した財政調整基金がありますので、いざというときの備えにするという考え方でありませう。

質問 将来にわたり理事として運営に関与するつもりなのか。また赤字若しくは赤字の場合の市の対応をいかに考えているのか。
市長 医療法人による経営状況を踏まえ、一定の責任を果たすため、支援内容などについて協議して参りたいと考えております。



公明党

杉沢 千恵子 議員

Q 防災会議への女性登用を積極的に進めて貰いたい

A 女性でなければならぬ役割等で検討したい

質問 防災会議への女性登用率が進まないのはなぜか。

市長 国の災害対策基本法に規定されている「役職指定の制約」などが主な要因と考えられます。今後、地域防災計画の全体の見直しの中で「防災会議委員への女性登用」や「防災対策上、女性でなければならぬ役割等」について可能な範囲で検討して参ります。

質問 防災部局と男女共同参画部局との連携強化や女性の意見を普段から反映させる取り組みを求めるが。市長 「大仙市地域防災計画の見直し」の策定委員の中に、既に女性職員も数多く参加しており、様々な意見が取り入れられていると聞いています。特に、この度の大震災を踏まえたプライベートの確保や衛生管理、栄養管理、防犯対策など、多様な角度から女性の視点を取り入れた地域防災計画

を目指して今後の策定作業に取り組んで参ります。

質問 女性または女性職員を避難所運営に配置する方針を、事前に決定しておくべきと思うが。

市長 避難所への女性職員配置につきましては、当然の配慮であると認識しており、具体的に誰を、何処に配置するか等につきましては、災害対策本部の民生部避難所開設運営班において決定して参ります。その際には、保健・衛生担当や外国人通訳などの専門的な女性の適材適所の配置についても総合的に判断して参りたいと考えます。

質問 災害時の後方支援や高齢者宅訪問できめ細やかな支援を実現するため、女性消防団員をさらに積極的に登用すべきであると思ふが。市長 女性消防団員として修得した知識と技術をもつて、女性ならではの、き

め細やかな支援や市民の要望などに対応できるように教育訓練の質的向上を図りながら積極的な募集活動を行い、女性消防団員の増員拡大にも努めて参りたいと考えております。

質問 災害時の緊急物資の中に、女性や子ども、高齢者、障がい者に配慮した物資が備蓄されているのか。

市長 個別空間を作るためのダンボール製「簡易仕切壁」を約3千枚、「簡易トイレ」百組、プライバシー空間を作るテント15組を備蓄しています。今後は災害が発生した後、3日間分を基準に市民の生命と生活を維持に最低限必要な物資の食料品や防寒用品及び衛生用品などを備蓄する予定です。

※杉沢議員はこれらの質問のほか、「住民参加型市場公募債の発行について」の質問も行いました。

一般質問

質問 介護予防日常生活支援総合事業は実施しないように求めるが、見解は。

市長 現在行っている介護予防サービス利用と市の生活支援サービス事業などとの組み合わせにより、必要なサービスを提供するやり方が最善の方策であると判断し、平成24年度からの第5期計画期間においては、総合事業は実施しないと考えております。

質問 第5期介護保険料はどうなるのか。市長 介護保険給付費総額に対する第1号被保険者の負担額が、これまでの20%から21%に改正されていることから、大まかには介護給付費の21%分を広域組合管内の1号被保険者数で割って保険料額を求めることとなります。要介護認定者の増加や介護サービス事業の新設や増設等により

給付費の伸びが続いていることから、全国的に保険料のアップは避けられないところであります。質問 介護給付準備基金を全額取り崩し、保険料の引き下げを行うべきと考えるが。市長 基金の目的が計画期間内の急激な給付費増に対応できるような積み立てるものであることから、必要と認める額を除去して次期計画に歳入として繰り入れるべきものとされております。



日本共産党

佐藤 文子 議員

Q 生活支援総合事業は実施しないよう求めるが

A 第5期計画期間では実施しないと考える

れないこと、また路線の周辺に堆雪場所の確保が困難なこと等が原因で除雪作業を行っていない状況にあります。

質問 市道については責任を持って除雪対策を図るべきと思うが当局の考えは。市長 市道の除雪を個人所有の除雪機で対応して頂いている方に対しまして、今冬につきましては、除雪機に使用する燃料を支給したいと考えており、現在、作業を進めております。除雪を実施していない路線につきましては、現場状況や除雪機械の機種選定を含めて今季中に検証し、一定のルールを定めたいと考えており、除雪計画に位置づけながら、来季には対応して参りたいと考えております。

除雪対策について 質問 沿道に民家がある市道でありながら、狭隘や民家が少ないなどの理由から市の除雪車も入らない、消雪設備もないといった路線がどれだけあるのか。市長 大曲地域3路線、南外地域15路線、太田地域20路線については狭隘があるため除雪機械が入

※佐藤議員はこれらの質問のほか、「中学卒業までの医療費の無料化について」「太田診療所の法人化について」の質問も行いました。

簡素で効率的な行政システムを

平成22年度大仙市一般会計・特別会計決算を認定

閉会中の継続審査としていた、平成22年度大仙市一般会計・特別会計歳入歳出決算の認定については、11月7～11日の5日間にわたり決算特別委員会（高橋幸晴委員長）で審査され、第4回定例会の初日（12月5日）に委員長報告を受けたあとに質疑、討論、表決を行い、一般会計歳入歳出決算については賛成多数により認定、国民健康保険事業など23の特別会計については全会一致により認定されました。

【総務民生分科会】

① 地方債の発行を極力抑えるとともに低利に借り換えするなど、健全化に向けた成果が表れてきていることは評価したい。しかし、財政健全化判断比率である実質公債費比率が18.8%、将来負担比率が168.1%と依然高い値を示している。このような、極めて厳しい財政状況を職員一人ひとりが強く認識し、今後とも簡素で効率的な行政システムの確立に努められたい。

委員会の審査は常任委員会単位の4分科会（総務民生・企画産業・教育福祉・建設水道）において分科会審査をした後に全体で審査をしました。各分科会での主な審査意見をお知らせいたします。

【企画産業分科会】

① 地域枠予算や自治会育成支援事業費補助金は全体の申請件数が増加し、認知度は上昇しているものの、地域間の格差は未だに大きい。事業の効果的な周知、また効率的な執行には住民活動の組織化が不可欠であることから、特に活動基盤の弱い大曲地域町部においてはコミュニティ会議を早急に立ち上げるなど、公平な運用に努められたい。

② デマンド型乗合タクシーは乗合率の大幅な低下、循環バスは郊外へ大型小売店舗が進出したことによる利用者ニーズの変化があり、運行当初とは大きく状況が異なっている。これらの問題を今一度地域協議会へ説明し、改善策を協議されたい。また、真に公共交通を必要とする交通弱者に情報が行き渡るよう、周知の方法も併せて検討されたい。

③ 農業者・農業法人等が融資を受けて農業用機械・施設を導入し、過大な債務を背負うケースが見られる。国・県の支出による補助事業であっても、申請窓口となる市は、経営の実態を正確に把握し、加えて専門指導員や税理士等から適切な指導が受けられるよう配慮されたい。

④ 戸別所得補償モデル事業の導入に合わせて市が独自に実施した大豆大規模団地化育成確保事業は時宜を得たものであり、特に山間部での大豆作付の団地化、作業集積の推進に大きく寄与していることが認められる。

【教育福祉分科会】

① 提出された事業説明書には、概要や評価の記載、成果・効果の判断できる数値の記載が欠けている部分があり、P.D.C.A（計画・実行・評価・改善）の1サイクルである決算審査の資料としては不十分である。今後は事業の対象者数や参加者数、実施回数等の具体的な数値を整理し、データを基に問題点を把握するとともに施策の精査に努め、決算資料として提出することに改められたい。

② 外部団体への委託や補助金交付により政策目標達成を図っているものが多く存在するが、実際に行われている業務を担当局で十分に把握していないものが見受けられる。効果をしっかりと確認できるようなシステムを確立し、活動実態の把握に努められたい。

③ 福祉法人の自立については、当初予定された効果を達成するために、移行工程を定め年度ごとに実績をしっかりと確認しながら事業の遂行にあたり、目標年度には金銭援助や職員派遣のない自立した運営ができるように計画的に移行を進められたい。

④ 大曲中学校屋内体育館建設事業費について、設計業者の建築確認申請の不備もあったが、工事の発注が遅れたこと、その設計業者に対し市発注工事を制限するなどの対応があったことも事実である。重大な問題については、その都度説明しながら、今後も発注管理を徹底した業務執行を図られたい。

【建設水道分科会】

① 市道敷地等未登記対策費については、平成22年度当初予算説明で年間50筆程度を目標としていたが、いつの間にか年間30筆程度と事業目標が縮小されている。また当該年度ではその目標にも達していない状況である。相続等の諸問題や各種測量に膨大な経費を要すると思われるが、私有財産にも影響を与えることから早期に解消できるような努められたい。

② 道路維持・新設改良事業については各地域から多くの要望があると思われるが、その事業内容は大曲地域に集中しているものと思われる。平成24年度の予算編成にあたっては各地域のバランスを取りながら、危険性のある場所については早急に対応できるよう検討されたい。

③ 住宅使用料については、昨年度より収入未済額が減少されたことから徴収事務に対する努力が認められるものの、いまだに2千万円弱が収入未済額となっている。経済状況など納付できない事情も察するが、公平性と住宅の管理運営上からも、条例等に基づく明渡し請求を行うなど、引き続き滞納の解消を図るよう努められたい。

④ 簡易水道事業・公共下水道事業等の各特別会計の使用料及び受益者負担金（分担金）は、支所により収納率に高低が見られることから、市全体の徴収の取組方法に課題があると思われる。本庁と7支所が共通認識のもと、早期に滞納の解消を図られたい。



第4回定例会で審査内容を述べる
高橋幸晴決算特別委員長

◆委員会審査のあらまし◆

総務民生常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、条例案4件、補正予算案2件で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。条例案のうち「大仙市空き家等の適正管理に関する条例の制定について」は、空き家等の管理の適正化を図り、倒壊等の事故、犯罪、火災等を未然に防止することにより、市民の安全で安心な暮らしの実現を目指すもので、平成24年1月1日に施行されました。一般会計補正予算（第11号）には、「空き家等対策費」として、空き家マップを作成し、市内全域の空き家状況を適正管理するための「空き家等防災管理システム導入経費」255万円が計上されております。また、陳情第34号「地方財政の充実・強化を求める意見書採択に関することについて」及び、陳情第37号「原子力発電所の廃止・再生可能エネルギーによる発電の推進を国に求めることについて」の2件は、出席委員の一致により「採択すべきもの」と決し、陳情第42号「年金受給資格期間を10年に短縮することを求めることについて」及び、陳情第43号「無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分3万3千円の支給を求めることについて」の2件は、賛成少数により「不採択すべきもの」と決しました。（委員長 渡邊秀俊）

企画産業常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は単行案2件、補正予算案1件で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。単行案の2件はいずれも指定管理者を指定するもので、「大仙市協和内水面漁業近代化施設及び大仙市協和広場等利用施設の指定管理者の指定について」では庄内養殖管理組合、「大曲地域職業訓練センターの指定管理者の指定について」では職業訓練法人大曲仙北職業訓練協会を、それぞれ期間を3年間として指定するものであります。「平成23年度大仙市一般会計補正予算（第11号）」では、個人住民税関係の法改正・固定資産評価替業務に伴うシステム改修等を行う「電子計算管理運営経費」、秋田県緊急雇用創出臨時対策基金事業を活用し「空き家等対策事業」に臨時職員を雇用する「緊急雇用創出臨時対策基金事業費」、申請が当初見込みより増加したことにより補正する「大仙市雇用助成金」、森林の現況調査や有利販売に対し支援する「未利用広葉樹資源活用支援事業費」、6月の豪雨で被災した農地の復旧について事業費の3分の1以内で県が助成する「農地等災害復旧事業費補助金」などがありました。（委員長 北村 稔）

教育福祉常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、条例案5件、単行案5件、補正予算案2件で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。条例案「大仙市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について」では、市立幼稚園を社会福祉法人大空大仙に移譲することに伴い、移譲する幼稚園を廃止するため所要の改正を行うもの5件など。単行案では、所管する5施設について平成24年4月から3年・5年・6年の指定期間で各指定管理者を指定するものであります。一般会計補正予算では、私立認可保育園の入所児童増加に伴う運営費負担金の補正、統合小・中学校の校門等の校名やステージ幕等の校章の変更に伴う修繕費の補正、小・中学校のマーチングバンド大会やジュニアオリンピック全国選抜大会出場の派遣費補助金としての補正が主な内容でありました。また、陳情第35号「学校給食に地場産野菜活用の一層の向上を求めることについて」は出席委員の一致により採択すべきものと決し、陳情第39号「大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求めることについて」は賛成少数により不採択すべきものと決しました。（委員長 大山利吉）

建設水道常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、一般会計補正予算案、簡易水道事業特別会計補正予算案の2件で原案のとおり可決すべきものと決しました。一般会計補正予算（第11号）は、協和地域における地積調査の検証測量等に係る経費として192万円、簡易水道事業特別会計への繰出金として815万6千円の増額補正でありました。簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）は国道13号神宮寺バイパス工事に伴う配水管移設に係る経費として815万6千円の増額補正。付託された陳情第41号、穂田原集落を周回する側溝改良に関することについては、「現在の側溝が大きく壊れる前に破損箇所及び水路底を舗装するなどの維持修繕的な改良工事を望む。悪臭も発生していることから地域全戸に農業集落排水事業に加入頂いたうえで改修を進めて貰いたい」との意見があり、採決の結果、出席委員の一致をもって採択すべきものと決しました。（委員長 竹原弘治）



穂田原地区を現場確認する
建設水道常任委員会委員

21日	19日	15日	14日	13日	5日	〔12月〕	29日	28日	24日	18日	17日	15日	14日	11日	7日	4日	〔11月〕	31日	28日	25日	24日	20日	17日	14日	13日	5日	〔10月〕	
協議会	第4回定例会（第4日）・議員全員協議会	議会運営委員会	各常任委員会審査	委員会・議会改革推進会議	第4回定例会（第2日）	第4回定例会（第3日）・議会運営委員会	第4回定例会（第1日）・会派代表者会議・議員全員協議会	第4回定例会（第2日）	第4回定例会（第3日）・議会運営委員会	第4回定例会（第4日）・議員全員協議会	第4回定例会（第5日）・議員全員協議会	第4回定例会（第6日）・議員全員協議会	第4回定例会（第7日）・議員全員協議会	第4回定例会（第8日）・議員全員協議会	第4回定例会（第9日）・議員全員協議会	第4回定例会（第10日）・議員全員協議会	第4回定例会（第11日）・議員全員協議会	第4回定例会（第12日）・議員全員協議会	第4回定例会（第13日）・議員全員協議会	第4回定例会（第14日）・議員全員協議会	第4回定例会（第15日）・議員全員協議会	第4回定例会（第16日）・議員全員協議会	第4回定例会（第17日）・議員全員協議会	第4回定例会（第18日）・議員全員協議会	第4回定例会（第19日）・議員全員協議会	第4回定例会（第20日）・議員全員協議会	第4回定例会（第21日）・議員全員協議会	第4回定例会（第22日）・議員全員協議会

議会のうごき

陳情・意見書

【陳情】

- ◆地方財政の充実・強化を求める意見書採択に関することについて
提出者＝連合秋田大曲地域協議会議長 早川隆史 【採 択】
- ◆学校給食に地場産野菜活用の一層の向上を求めることについて
提出者＝学校給食に地場産物の活用を求める会代表 秋田県革新懇筆頭代表世話人 山内満 【採 択】
- ◆「社会保障と税の一体改革による消費税増税は行わないこと」を国に求めることについて
提出者＝秋田県商工団体連合会会長 小玉正憲 【継続審査】
- ◆原子力発電所の廃止・再生可能エネルギーによる発電の推進を国に求めることについて
提出者＝秋田県労働組合総連合議長 佐々木章 【採 択】
- ◆「介護職員待遇改善交付金の継続」の意見書採択を求めることについて
提出者＝秋田県医療労働組合連合会執行委員長 中村秀也 【継続審査】
- ◆大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求めることについて
提出者＝秋田県医療労働組合連合会執行委員長 中村秀也 【不採 択】
- ◆「社会保障と税の一体改革」の中止を求めることについて
提出者＝秋田県社会保障推進協議会会長 渡辺淳 【継続審査】
- ◆穂田原集落を周回する側溝改良に関することについて
提出者＝陳情者代表 山田隆正 他 13名 【採 択】
- ◆年金受給資格期間を 10 年に短縮することを求めることについて
提出者＝全日本年金者組合秋田県本部
大曲支部執行委員長 石渡志夫 【不採 択】
- ◆無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分 3 万 3 千円の支給を求めることについて
提出者＝全日本年金者組合秋田県本部
大曲支部執行委員長 石渡志夫 【不採 択】

議長交際費 (10月1日～12月31日)

摘 要	件 数	金 額
弔 慰	1 件	10,000円
慶 祝	13 件	59,397円
協 賛	7 件	44,210円
計	21 件	113,607円

【意見書】

- 地方財政の充実・強化を求める意見書
 - 原子力発電所の廃止・再生可能エネルギーによる発電の推進を求める意見書
- ※上記の意見書は、大仙市議会常任委員会の提案により議決し、内閣総理大臣はじめ各関係大臣に提出しました。

大仙市議会議員政治倫理条例 関係私企業の公表

「大仙市議会議員政治倫理条例」が10月1日に施行されました。同条例に基づき、議員から関係私企業等の届出がありましたので、その概要を公表いたします。また、就業報告書（役職となっている団体等の名称等を記載）は閲覧することができますので、議会事務局に申し出ください。なお、下記の届出書は10月1日現在のものを議席番号順に掲載しております。

氏 名	職 業	本人が実質的に経営に携わっている企業・役職名	氏 名	職 業	本人が実質的に経営に携わっている企業・役職名
藤田君雄	農業	農業(経営主)	渡邊秀俊	農業	農業(経営主)
佐藤文子	政党役員		高橋敏英	会社役員	(有)コスモ(代表取締役)
後藤健	無職		児玉裕一	農業	農業(経営主)
佐藤隆盛	農業	農業(経営主)	佐藤芳雄	農業	農業(経営主)
藤井春雄	無職		大山利吉	農業	農業(経営主)
杉沢千恵子	無職		高橋幸晴	農業	農業(経営主)・仙北東森林組合(副組合長)
茂木隆	農業	農業(経営主)	本間輝男	農業	農業(経営主)
小山緑郎	農業	農業(経営主)	橋本五郎	農業	農業(経営主)
小松栄治	サービス業	不動産賃貸業(経営主)	橋村誠	農業	農業(経営主)
富岡喜芳	農業	農業(経営主)	佐藤孝次	農業	農業(経営主)
佐藤清吉	会社役員	(有)トウソーエレクトロン(代表取締役)	武田隆	農業	農業(経営主)
石塚柏	経営コンサルタント業	経営情報システム(代表)	千葉健	農業	農業(経営主)・(株)一口秋田(役員)
金谷道男	商業	金谷呉服店(代表)	竹原弘治	農業	農業(経営主)
大野忠夫	無職		鎌田正	農業	農業(経営主)

提出された議案と審議結果

(このページのみ適用 ■原案可決 ■同意 ■認定 ■承認 □継続審査)

【第7回 臨時会】 11月24日(1日間)

- 大仙市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 平成23年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計への繰入額の変更について
- 平成23年度大仙市一般会計補正予算(第10号)
- 平成23年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
- 平成23年度大仙市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 平成23年度大仙市土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成23年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成23年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成23年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成23年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)
- 平成23年度大仙市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
- 平成23年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成23年度市立大曲病院事業会計補正予算(第1号)
- 平成23年度大仙市上水道事業会計補正予算(第2号)

【第4回 定例会】 12月5日~12月21日(17日間)

- 平成22年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 〃大仙市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 〃大仙市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
- 〃大仙市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 〃大仙市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について
- 〃大仙市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 〃大仙市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 〃大仙市奨学資金特別会計歳入歳出決算の認定について
- 〃大仙市宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 〃大仙市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 〃大仙市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 〃大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 〃大仙市特定地域生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 〃大仙市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について

- 平成22年度大仙市介護老人福祉施設介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 〃大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 〃大仙市老人デイサービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 〃大仙市スキー場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 〃大仙市内小友財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 〃大仙市大川西根財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 〃大仙市荒川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 〃大仙市峰吉川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 〃大仙市船岡財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 〃大仙市淀川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(2件)
- 大仙市税条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について(3件)
- 大仙市保健センター設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市公園条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市介護老人保健施設設置条例を廃止する条例の制定について
- 大仙市空き家等の適正管理に関する条例の制定について
- 大仙市協和内水面漁業近代化施設及び大仙市協和広場等利用施設の指定管理者の指定について
- 大曲地域職業訓練センターの指定管理者の指定について
- 大仙市立協和公民館淀川分館の指定管理者の指定について
- 大仙市協和淀川農林漁業者トレーニングセンターの指定管理者の指定について
- 大仙市西仙北緑地運動広場野球場等の指定管理者の指定について
- 鞠子苑の指定管理者の指定について
- 土川保育園の指定管理者の指定について
- 平成23年度大仙市一般会計補正予算(第11号)
- 平成23年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)
- 平成23年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算(第3号)
- 平成23年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)



編集後記

市民の皆様には輝かしい新年をお迎えのことと存じます。2011年の世相を表す漢字には「絆」が選ばれました。大震災後の国民の意識が変わってきた表れでもあります。

今年も復興元年の年と言われております。先日の1月12日、宮古市の災害廃棄物を視察してきました。被災地の皆様の一日も早い復興を願わずにはいられません。

さて大仙市議会では、昨年制定されました「大仙市議会基本条例」、「大仙市議会議員政治倫理条例」を基に市民に開かれた議会を目指すこととなります。

今年は大仙市議会の「改革元年」とりわけ「意識改革元年」の年になると思えます。「だいせん市議会だより」を通じても市民の皆様にはわかりやすくお伝えしていきたいと思っております。

どうか皆様のご意見をお寄せください。

編集副委員長 高橋 幸晴 記